

令和5年10月4日

議会議長 田 口 彰 一 様

総務建設委員会
委員長 野 田 哲 郎

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和5年7月21日（金）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

(1) 伊豆ファン倶楽部事業について

伊豆ファン倶楽部事業は、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し「マイナンバーカードで、住んでいる人と訪れる人が伊豆を楽しみ、伊豆を盛り上げる」をコンセプトに、伊豆の玄関口である三島市、熱海市及び函南町の2市1町が連携をし、令和5年度から3年間の期間で実施される事業である。

来年の1月末から一部サービスの運用が開始される予定であり、マイナンバーカードの活用やスマートフォンのアプリとの連携により、事業の目的である伊豆の関係人口（伊豆ファン）の強化と、それにより創出された新規の需要を梃子としたサービス産業の生産性向上が期待されている。

具体的な事業の内容については未確定な部分が多いため、引き続き関係市町で協議を進め、観光振興、地域産業の活性化へ繋げられるよう努められたい。また、将来的には伊豆半島を構成する7市6町での連携が最も効果的であるため、他市町に対しても働きかけを行い、伊豆半島全体で事業に取り組む体制づくりを図られたい。

(2) ふるさと納税の現状と今後の計画について

ふるさと納税の寄附額や件数が全国的に年々増加している中、当町への寄附額は増加傾向にはあるものの、県内の自治体の中では下位に低迷している。また、町民の他市町等へのふるさと納税にかかる税額控除が、当町への寄附額を上回っている状況となっている。

ふるさと納税寄附額の増加へ繋げるため、本年度より新たに展開している施策として、役場職員により組織する庁内プロジェクトチームの設置では、返礼品に係る新たな発案や納税ポータルサイトの掲載写真等の見直し等が行われる予定である。また、商工会と連携したふるさと納税特産品開発事業助成金の創設では、地域資源の促進及び地域活性化を図るため、返礼品の開発等に取り組む企業等への助成が行われている。

様々な施策により、寄附額の増額へと繋がることが期待される。

(3) 上下水道工事の概要と静岡県水道広域化推進プランについて

令和元年度より継続事業としている第1浄水場更新工事の現状と、今年度予定される5,000万円を超える工事4件についての工事概要、また、静岡県が令和5年3月に作成をした静岡県水道広域化推進プランについての説明がされた。

水道事業の持続的な経営確保のため、計画的な施設や管路等の工事に加え、基盤強化へ向けた広域化の推進について方策の検討を進められたい。

(4) 景観計画に基づく眺望地点の案内看板設置状況について（現地視察）

函南町の景観計画において定められた景観計画区域のうち、富士山とその他の本町固有の景観を眺望できる地点が、景観審議会において眺望地点として指定されている。

令和3年12月21日に指定された4か所のうち、滝知山園地と湯〜トピアかなみについて、案内看板の設置状況の確認を現地視察により行った。